

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	諫早市手をつなぐつくしっ子				公表日	令和7年3月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	・2グループに分かれて活動を行う等しているが自由遊び時や活動内容によっては手狭さを感じる。 ・部屋を区切り活動など行っているがこどもの特性等により部屋がすごく手狭に思うこと有り。	・グループを分けての活動時は良いが自由遊び時に狭さを感じる。 ・利用人数は10名になると手狭になる。 ・机上の部屋が狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	6		・マンツーマンでの支援が必要な場合があり十分な支援が行き届くには足りないと感じることがあった。 ・基準配置の職員数は満たしているがじっくり向き合うことは難しい。 ・支援度の高いこどもさんが多い曜日、またその日のこどもの状態によっては応援の必要性を感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・絵カードやスケジュールの提示、使用。マットでの仕切りあり。 ・一日の流れをこどもさんが見える場所に提示し確認できるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・運動、机上など分けて活動を行っている。 ・動、静で活動部屋を分けている。 ・掃除を毎日しているので清潔である。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		・部屋数もなくカー無や段ボールなど作って提供しているも十分とは言えない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		・スタッフ会議、日々の振り返りを行っているがそれでも足りないと感じることもある。 ・振り返りは少しの時間でも行うようにしているがこどもを見ながら実施するため十分ではない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		改善できることは努めたいと思うが配置などによりできないことも多い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		確認できておらずわからない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3		・法人全体の研修であるが児童に特化した研修がないのでこども棟の研修があってもいいのではと思う。 ・研修回数が少ない。 ・職員のための勉強会などあって良いと思う。 ・十分な職員配置でなく職場からぬけることができない状況にある。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・個々の記録に計画書を挟めている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・こどもの現状を踏まえての支援内容だと思う	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	・日々の活動は全員で回して行っている	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・活動内容が続けて同じにならないようしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・個々で振り返りノートを見たり子どもを受け入れながら確認している状況（勤務時間調整のため）。 ・時間が取れず不十分ではあるが役割については事前に決めてありそれを個々で確認し連携しながら行っている。 ・支援開始前ではないが役割分担はできている。	・振り返りノートを活用してみんなで共有できるようにしているも全員で話す時間はとれない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・振り返りで内容を共有し次回に活かせるように工夫している。	・振り返りをしているが勤務時間の関係などでできないことがある。また見守り中の振り返りで十分でない場合もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・振り返り時に支援でわからなかったことなど全員で確認できている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリングで達成項目があった場合、次の目標へと見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・担当者会議で支援の統一を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・園との情報交換を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5		・現場よりぬけないことが多く他関係と話す機会が少ない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・保育園でのリトミックへの参加や園庭遊びで園児との交流の機会がある。	・保育園の行事参加などもっと増やしても良いと思った。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・連絡ノートや送迎時での保護者の方との会話を通してこどもさんの状況等、共通理解に努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・玄関にこども医療のペアレントメンターのチラシを貼り周知に努めている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・連絡帳で受けた相談にも応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・保護者同士のおしゃべり会を開催	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・月に1回法人ホームページのブログを更新している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		・訓練はあるが定期的でないと感じる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	・服薬時は連絡を受けた職員が他職員全員に周知している。	・予防接種のことはよくわからない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・食物アレルギーの利用児がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	・支援の確認を保護者に行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・その日のヒヤリハットは振り返り時に伝えている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・スタッフ会議で虐待防止について話したり法人内研修で虐待研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・やむを得ない支援をする時は保護者に説明し同意をもらってから支援を行っている。	